

古代史研究会特別研究集会のお知らせ

3月の古代史研究会春季研究集会でご案内いたしましたように、7月に特別研究集会を開催いたします。

特別研究集会のテーマは「後期ローマ帝国を考える」です。会は第1部と第2部から成り、第1部は山下孝輔さんの研究発表、第2部はリチャード・フラワー博士の講演です。

第1部の山下孝輔さんの研究報告は、3月に刊行された南雲泰輔『ローマ帝国の東西分裂』（岩波書店）を取り上げ、その内容を紹介しつつ、報告者独自の観点から検討するものです。通例のいわゆる「合評会」とは異なり、書物の丁寧な紹介をしていただいた上で、山下さん御自身の検討結果を話される予定ですので、南雲さんのご著書をお持ちでない方、読んでおられない方も楽に討論に参加いただけます。山下さんの報告後、井上文則さんにコメントしていただき、さらに著者である南雲さんの意見も伺ってから全体討論する予定です。

第2部は、後期ローマ帝国・古代末期史の研究で活躍中の英国・エクセター大学上級講師リチャード・フラワー博士の講演です。同博士については、エクセター大学の下記の教員紹介サイトをご覧ください。

<http://humanities.exeter.ac.uk/classics/staff/flower/>

フラワー博士はケンブリッジ大学でクリストファー・ケリー博士の指導を受け、現在はケリー博士とともに古代末期研究を牽引する若手の実力者です。

第1部も第2部も、内容はローマ帝国史に留まらぬ豊かなものになると予想されます。どうぞふらってご参加下さいますようにご案内いたします。なお、本特別研究集会は、関西ビザンツ史研究会と共催とさせていただきます。多くの方々のご参加を期待しております。

記

日時：2016年7月23日土曜日 午後1時30分～5時30分

会場：京都大学吉田キャンパス 8階建て文学部校舎2階 第4講義室

(古代史研究会大会や同春季研究集会が開かれる同じ建物同じ階の西隅の教室です)

交通：市バス：京大正門前下車、徒歩5分

文学部校舎：京都大学正門より北へ 時計台後方の8階建て2棟のうちの北の建物

プログラム

趣旨説明 南川高志 (京都大学教授)

第1部 研究報告 司会 南川高志

報告者：山下孝輔 (京都大学非常勤講師)

報告題目：後期ローマ帝国における法的統合の問題に関する一考察

—南雲泰輔著『ローマ帝国の東西分裂』に見る新動向に寄せて—

コメント：井上文則 (早稲田大学教授)

第2部 講演 司会 藤井 崇 (関西学院大学准教授)

講演者：Dr. Richard Flower (英国・エクセター大学上級講師)

演題：Political Invective at the End of the Roman Empire